

目標達成計画

事業所名 グループホーム阿蔵の森

作成日： 令和 6 年 5 月 23 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間	目標達成状況(任意)
1	5b	介護記録の目標に対する具体的な記録が少ない	目標に対する具体的な記録をしやすいように、介護記録を見直す。 職員全員が目標を明確にして記録をしていく。	今ある介護日誌を見直して負担のない記録を出来るように検討していく。介護職員に対する記録の統一と研修をしていく。	6 か月	
2	37e	運営上の事柄や出来事については、運営推進会議に参加する家族代表者以外には報告していない	定期的なグループホームの活動内容を報告出来る機会を作る。	月に1回、日常生活の様子をお伝え出来るように、阿蔵の森通信の作成と一筆箋による家族への報告を継続し、運営推進会議の記録を送付する。	6 か月	
3	50d	この一年間は、避難訓練を行っていない	年に2回以上、避難訓練を必ず行う。 地域の方との連携を図りながら訓練への参加をお願いする。	月1回程度、職員の連絡網を使つての緊急時の体制の確立。 地域の方に参加を仰ぎながら実施していく。 消防署や地域の消防団との連携を図り情報を共有化していく。	12 か月	
4					か月	
5					か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		
実施段階		取 り 組 ん だ 内 容 (↓ 該当するものすべてに○印)
1	サービス評価の事前準備	☐ ①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		☐ ②利用者へサービス評価について説明した
		☐ ③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		☐ ④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		☐ ⑤その他()
2	自己評価の実施	☐ ①自己評価を職員全員が実施した
		☐ ②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		☐ ③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		☐ ④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		☐ ⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	☐ ①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		☐ ②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		☐ ③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		☐ ④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	☐ ①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		☐ ②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		☐ ③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		☐ ④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		☐ ⑤その他(5/24開催の運営推進会議で結果報告、その後家族に評価結果や話し合った内容を報告する)
5	サービス評価の活用	☐ ①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		☐ ②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		☐ ③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		☐ ④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		☐ ⑤その他()